

神戸日独協会主催 ドイツ再統一25周年記念講演会

「ドイツの先進的状況から日本の将来を探る」

ドイツは2015年10月3日に再統一25周年を迎えます。

再統一後のドイツは長く経済の低迷に苦しみましたが、構造的な諸改革を推進して統一後の諸問題を克服して、経済力を回復し統合ヨーロッパを牽引しています。

脱原発をいち早く決め代替エネルギー問題や移民問題に積極的に取り組み、第4次産業革命とも見なされている高度技術戦略「インダストリー 4.0」を掲げて、産官学一体で推進しています。

脱原発と代替エネルギー、経済のグローバル化と技術革新、少子化と労働力不足による移民問題と産業の海外流出、集団的自衛権と憲法改正など政治的・経済的・社会的な大きな問題に直面している現在の日本が、将来のためにドイツの先進性に学び、これらの問題解決の道を考えるために、神戸日独協会は連続講演会を開催します。

第1回講演会

基調講演「再統一後のドイツ」(通訳付き)

講演者：ドイツ連邦共和国総領事、インゴー・カールステン氏

日時：2015年7月31日(金)18:30～20:30(開場17:00)

場所：神戸外国倶楽部(神戸市中央区北野町4-15-1)

会場費・申込：500円、事前申込制(定員100名)

7月29日(水)までに

Eメール(info@jdg-kobe.org)、電話・FAX(078-230-8150)で、
神戸日独協会事務室までお申し込みください。

会場費は当日受付にてお支払いください。

ドイツ外務省と「旧東独社会主義統一党による独裁体制を検証するための連邦基金」によるパネル展『ドイツ統一への道』を同時開催します。